

校長室だより

春日

(しゅんじつ)

校長 清武 直人

この一輪

コスモスの花が一面に咲き誇る花畑
 何千本
 何万本と咲く
 このコスモスの花畑で
 この一輪に目にとまる
 特別なこの一輪



お弁当の日

「おにぎり自分で作らないかん！」
 「けど、上手ににぎれん！」

昨日はお弁当の日でした。おにぎりだけは自分で作るというのが課題でした。私もチャレンジ。でも不器用な私にとってはかなり難しい。

家内に聞くと、握らなくてもよいお握りがあるとゆうではありませんか。なんと

「おにぎらず」

のりの上にご飯を平たくのせて、のりをたたみこむ。にぎらずにできる「おにぎらず」。

これは私にもできました。「おにぎらず」に自信をつけた私は、おかずにも挑戦しました。野菜とウィンナーの炒め物。豚肉のみそ炒め。ゆで卵に生野菜、と言うとちょっとできる男風ですが、本当のことを言うと、始めから終わりまで、横で奥さんがずっと教えてくれました。

人からあれやこれやと言われるのが苦手な私ですが、これも老後の自立のための思い、何とか完成させました。



自分で作ったお弁当を持っている誇らしげな私の顔はホームページに載っています。いやいや、私の顔はどうでもいいのですが、楽しそうな子どもたちの顔がホームページに載っています。子どもたちが作ったお弁当も。

お弁当の日の朝は、それぞれのご家庭で、それぞれのドラマがあったことと思います。次回は11月30日です。

ふつう

「ふつう」「ふつう」って
 みんな言うけど
 「ふつう」って何でしょう？
 「ふつう」の人生
 「ふつう」の生活
 「ふつう」って
 平凡？ 退屈？ ありきたり？
 いえいえ
 「ふつう」って
 結構欲張りで
 いつまで経っても
 「ふつう」になれないのが
 「ふつう」なのです。

花壇

学校の玄関横の花壇は、今花盛り。レトニア、ジーニア、コスモス、マリーゴールド・・・。「ふつう」ならとうに咲き終えている花が、今生き生きしているのです。

この花壇は、大変日当たりが悪く、「ふつう」は花が育ちにくい花壇です。ところが、この日あたりの悪さが花の育ちを遅らせ、真夏の日光から花を守ってきたのです。

真夏には、この花壇の花は、よその花壇の花に比べて弱々しく見えたかもしれませんが、よその花壇の花が咲き終えた頃、今が盛りと、我が校の花は咲き誇っているのです。

我が校の花壇の個性を知り、よその花壇の花と比べることなく根気強くこの花を愛してくださっている宮崎先生のおかげです。

